

自己評価結果報告書

2025年10月17日

報告者氏名

横山雅之

①全体評価

6月の自己評価に比べ各人それぞれ出来る項目が増えおり、大きな問題はないと考えます。日常の保育を振り返ることで各自の課題を見つけ、専門性を高めていくことを期待します。

②学校評価の個別評価

- 1 教育課程・指導
園児一人一人の人格を尊重し、園の状況を踏まえた教育保育目標等が設定されている。
- 2 保健管理
法定の学校保健計画の制定。乳幼児の病気やケガ等の情報提供が行われている。
手洗い・消毒等保育環境の衛生管理が徹底管理されている。
- 3 安全管理
毎月の避難訓練等を通して、全職員・園児の安全対応能力の向上を図るため、取り組んでいる。
- 4 特別支援教育
特別な支援が必要な乳幼児のために、支援施設や学校との交流が図られている。
また、保護者の思いに寄り添いながら、発達に即した指導がなされている。
- 5 組織運営
明確な運営と、園長・副園長・教頭・主幹保育教諭という基本体制が整っており信頼を得ている。
- 6 研修(資質向上の取組)
園内研修を毎月行い、外部のリモート研修も取り入れながら保育の質を高める努力をしている。
- 7 教育目標・学校評価
園の状況を踏まえ、教育保育の目標を設定している。
- 8 情報提供
ホームページ・電子連絡帳パピーナ(園だより・クラスだより)や掲示板などを活用し積極的に情報提供を行っている。
緊急時にはパピーナによる一斉配信を行う。
- 9 保護者・地域住民との連携
保護者参加の行事や地域行事を計画通り行えている。
- 10 子育て支援
未入園児の子育て支援を月3~4回行っている。
- 11 預かり保育
事前に保護者と子どもの様子や生活面での連携を取り、子どもが安心して過ごせるように、必要に応じて受け入れをしている。
- 12 教育環境整備
年齢に合わせた遊具・用具等の維持管理、また生活環境の整備に努めている。

③その他必要な評価

- その他1 食事に関する安全事故防止
アレルギーおよび喫食状況の確認を行っています。
- その他2 食中毒や感染の予防
感染症に関する啓発(チラシの配布)・マニュアルの確認は年間を通して職員会で確認している。
- その他3 不適切保育の防止
全国保育士会の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を導入し、自己評価と相互確認により人権の認識を高めていく研修を行っています。

④課題と検討

自己評価チェックリスト項目NO. 3d『「早くしなさい」「だめ」「いけません」などを不用意に用いないようにしている』について評価が低めになっている。これは不適切保育に対する意識の高まりによるものと考えます。より良い保育を目指し不適切保育防止に向けた取り組みを行っていきます。

2025年度 自己評価チェックリスト 保育教諭 (結果報告)

【記入の仕方】 よく出来ている=◎ ほぼ出来ている=○ 努力が必要=△

分類	No.	内容			9月(回答数:全14)	記入無 (業務外)
		◎	○	△		
A 発達・ B 教育	1	見通しをもった保育をしている(保育実施計画に記入)	6	8		
	2	子どもの発達、興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊んでいる	4	9	1	
	3 子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている	a 子どもの思いを大切にしながら対応している	7	7		
		b 子どもが理解しやすい温かな言葉づかいで、その子に聞こえる程度の声の大きさで話している	8	5	1	
		c 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみ取るよう、努力している	8	6		
		d 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」などの制止や禁止の言葉を必要に用いないようにしている	4	6	4	
		e 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して子どもの状況に応じて温かく対応している	5	9		
		f 保育士として、子どもが安心して話したくなるような雰囲気をもっている	5	7		2
		g 子どものサインを見逃さず、対応している	5	8	1	
	4	遊びに入れない子どもや、全体の安全に気を配っている	7	7		
	5 遊びや生活を通じて人間関係が育つよう配慮している	a 子ども同士の関係を良くするような言葉かけをしている	6	6		2
		b けんかの場面では状況を適切にとらえ、双方の思いを聞き丁寧に対応している	3	8	1	2
		c 年齢に応じた社会的ルールを身につけていくように配慮している	5	7		2
		d 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力しあう場面がある	6	6		2
	6	保育士自身が一緒に身体を動かしながら、楽しんで保育している	4	6	2	2
	7	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができる	3	11		
	8	子どもが危険な遊び方が分かり、安全に気を付けて行動するように指導していますか。	7	5		2
	9	生活のリズムを整え、基本的な生活習慣が身に付くように配慮しながら保育をしていますか。	4	8		2
	10	子どもが落ち込んでいる食事を楽しみ感謝の心が育つように指導していますか。	3	10	1	
C 保健衛生	11	子どもが快適に過ごす為の環境が整っている	4	7	1	2
	12	廊下に落ちている物を拾ったり、トイレのスリッパを揃える意識をしている	6	8		
	13	室内の衛生、クラス廻りの清掃を心がけ、気持ちの良い環境作りをしている	8	6		
	14	保育室やトイレを清掃し、子どもが安全で活動しやすい環境を保つ配慮をしていますか。	9	5		
	15	室内の温度や湿度、換気をチェックしていますか。	7	7		
	16	身長、体重など定期的に計測し、子どもの発育状況を把握していますか。	7	7		
D 連携	17	突発的な状況に対して適切な対応ができる	3	10	1	
	18 職員間の連携がとれている	a 保育士間の信頼関係ができる	10	3	1	
		b 保育についての話し合いがなされ、意思統一ができる	6	7	1	
		c それぞれの役割を把握し、適切な動きができる	6	7	1	
	19	保護者の思いを理解するように努め、ていねいに連携を進めている	3	10	1	
	20	保護者と子どもに笑顔であいさつをし、気持ちの良い受け入れをしている	9	5		
	21	来客や地域の方に、積極的に声かけをしている	6	6	2	
E 資質向上	22	園の保育理念、基本方針を正しく説明することができますか。	5	9		
	23	職務上知り得た子供に関する情報について家族や友人にも話さないようにしていますか。	11	3		
	24	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができる	5	9		
	25	子どもの命を守るために玩具や遊具の安全管理と子どもの行動から目を話さないよう責任を持った保育をしていますか。	7	7		
	26	自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽をしていますか。	2	11	1	
	27	研修に参加したり、専門書を読むなどして知識や技能の向上に努めていますか。	1	10	3	
	28	あなたは保育士としての人間性や倫理観を高めるために自己研鑽に努めていますか。	1	12	1	

保育の質の向上を図るために、保育士一人一人が高い専門性と豊かな資質を持つことが重要です。

216 288 24 18

そのため、自分の保育を自らで点検し「これでいいのだろうか?」と課題を見つけることが大切です。

40% 53% 4% 3%

自己評価を難しく考えず「自分で計画を立て、実践し、見直す」。

いつもの自分の保育を振り返ることで、明日の保育の方向性を見直すことができます。